

投票箱



特集「学生と考える」より

12月定例会 11月30日～12月17日

主な内容

- 特集 学生と考える…………… 2
- 定例会・議案の内容…………… 4
- 質疑・議会の動き…………… 5
- 一般質問…………… 6
- 意見書・議員研修…………… 15
- 委員会審査…………… 16
- 請願審査・要望書・議会のヒトコマ… 17
- 議会トピックス・編集後記…… 18

キニナル

3

交通マナー

- ◎危険を感じる場所が市内にはまだたくさんある。
- ◎子どもの頃からの習慣や意識づけが大事。

四国職業
能力開発
大学校
11/24(水)



キニナル

4

投票率向上

- ◎公約が守られていない現状を見ると、投票する気がなくなる。
- ◎18歳で突然選挙権を与えられたが、興味も知識もなく、ピンと来なかった。

市を元気にしたいと考えてくれている若い人たち。彼らの未来、市の発展のため、誰もが参加したくなる市政を目指していこうと考えています。

キニナル

5

商店街活性化

- ◎インターネットの普及で地域の力が弱まっている。
- ◎音楽フェスやゲーム、コスプレ、グルメなど、趣味に特化したイベントなら人は集まるはず。
- ◎一人旅や知的好奇心の探求も、今求められているコンテンツでは。

キニナル

6

政治家のSNS

- ◎立場のある人がしっかり使い方を勉強して利用するといい。
- ◎各議員の考えや議会の情報をわかりやすく発信することは大事。



特集
学生と
考える

「未来の丸亀 どうする？ どうなる？」

～大手前丸亀高等学校編～

～四国職業能力開発大学校編～

大手前丸亀
高等学校
11/12(金)

丸亀市の**気になる**こと…
学生との意見交換会を開催。

—広報広聴委員会—

キニナル

1

地方創生

- ◎国は介護職や保育士の賃金を引き上げるそうだが、それでも医師との差は激しい。改善できないものか。
- ◎若者や無受診の健康な高齢者に市内で利用できるクーポンを発行してはどうか。
- ◎ショッピングモールなど、人の集まる場所を増やせば活気が出るのでは？

いい
アイデア!

キニナル

2

選挙

- ◎投票率の低さは、市民と議員の壁の高さを表しているのではないか。
- ◎政策を見ても、自分の意見の代弁者がいない。
- ◎自分の一票で何かが変わると感じられない。

自分で発信したり、
代弁者を育てたりも
できるのでは!?



12月定例会

11月30日～12月17日(18日間)

- 11月30日
 - ・議案第72号～98号
 - ＝提案理由の説明
- 12月2日
 - ・議案第72号～98号
 - ＝議案質疑の後、各常任委員会に付託
- 3、6、7、8日
 - ・一般質問
- 9日
 - ・教育民生委員会
 - ・都市環境委員会
- 10日
 - ・総務委員会
- 17日
 - ・議案第72号～98号
 - ＝委員長報告・討論・採決
 - ・議案第99号、100号
 - ＝提案理由の説明・質疑・討論・採決

議案の内容

- ▼議案第72号 一般会計補正予算(第7号)
 - 歳入歳出それぞれ2億115万7千円を増額し、総額を578億754万4千円とする。
- ▼議案第73号 国民健康保険特別会計補正予算(第1号)
 - 健診案内の印刷、発送業務委託料の限度額を定める。
- ▼議案第74号 モーターボート競走事業会計補正予算(第3号)
 - 収益的収入286億5240万円、収益的支出251億5272万3千円をそれぞれ増額する。
- ▼議案第75号 家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正
 - 国の基準の一部改正に伴い、家庭的保育事業者等が整備する記録等を電磁的記録により行うことができるように改正する。
- ▼議案第76号 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正
 - 国の基準の一部改正に伴い、特定教育・保育施設等が整備する記録等を電磁的記録により行うことができるように改正する。
- ▼議案第77号 国民健康保険条例の一部改正
 - 産科医療補償制度の見直しに伴い、出産育児一時金について金額を改正する。
- ▼議案第78号 工事請負契約の締結(富熊小学校校舎長寿命化改修工事)
 - 制限付き一般競争入札により、株式会社池田工務店と仮契約を締結したため、議会の議決を求める。
- ▼議案第79号～97号 指定管理者の指定
 - 城北コミュニティセンター
 - 城西コミュニティセンター
 - 城乾コミュニティセンター
 - 城坤コミュニティセンター
 - 城南コミュニティセンター
 - 土器コミュニティセンター
 - 飯野コミュニティセンター
 - 川西コミュニティセンター
 - 郡家コミュニティセンター
 - 垂水コミュニティセンター
 - 栗熊コミュニティセンター



綾歌森林公園畦田キャンプ場

▼議案第98号 中讃広域行政事務組合規約の一部変更
仲善クリーンセンターの廃止に併せたクリントピア丸亀への可燃ごみ焼却施設の集約化に伴い、組合規約の変更について、

●岡田コミュニティセンター
●富熊コミュニティセンター及び同分館
●飯山南コミュニティセンター
●飯山北コミュニティセンター
●手島自然教育センター
●生涯学習センターほか1施設
●市民体育館ほか9施設
●綾歌森林公園畦田キャンプ場ほか1施設
各施設における指定管理者の指定について、議会の議決を求める。

議会の議決を求める。

▼議案第99号 一般会計補正予算(第8号)
歳入歳出それぞれ9億2340万円を増額し、総額を587億3094万4千円とする。

▼議案第100号 一般会計補正予算(第9号)
歳入歳出それぞれ9億2千万円を増額し、総額を596億5094万4千円とする。

質疑

指定管理者の選定基準

Q 中谷議員 指定管理者の選定に当たり、障害者差別解消法や地球温暖化対策推進法を踏まえた基準を設けているのか。

A 市民生活部長 募集時に、環境への負荷軽減に関する事項を盛り込んでいるが、障害者差別解消法への直接的な事項は明記していない。
今後、指定管理者として協定を締結する過程で、協定書に必要事項を盛り込むことを検討していきたい。

議会の動き

11・12月

11月
8日 広報広聴委員会
10日 総務委員会協議会
教育民生・都市環境委員会合同協議会
教育民生委員会協議会
17日 各派会長会
18日 市民会館整備特別委員会
19日 議会運営委員会
教育民生委員会協議会
30日 本会議
総務委員会協議会
市民会館整備特別委員会
12月
2日 本会議
各派会長会
都市環境委員会協議会

12月
3日 本会議
議会運営委員会
6日 本会議
7日 本会議
広報広聴委員会
8日 本会議
9日 教育民生委員会
教育民生委員会協議会
都市環境委員会
都市環境委員会協議会
10日 総務委員会
総務委員会協議会
議会運営委員会
14日 教育民生・都市環境委員会合同協議会
教育民生委員会協議会
17日 本会議
全員協議会
都市環境委員会協議会
23日 市民会館整備特別委員会

一般質問 17人の議員が市の考えを問う

質問者・項目

太字の項目は本文中に要約文を掲載

香川 勝

①重層的支援体制整備②キ
ヤリア教育③自治体運営

大西 浩

①DX社会②選挙

武田孝三

①政策推進部局とまちづく
り②都市基盤整備③政策立
案④租税教育

廣田勝也

①空き家バンク②民間プロ
ツク堀③動物愛護教育④太
陽光発電・蓄電⑤垂水橋

角野仁美

①デートDV②雇用創出③
気候変動

三宅真弓

①地域振興と観光行政②女
性議会

川田匡文

①政策ビジョン②防災対策
③中心市街地

渡邊一馬

①学校給食②認知症施策

内田俊英

①長寿戦略②にぎわい戦略
③市長の戦略・手腕

大前誠治

①職員の能力開発②定住自
立圏域③学校施設長寿命化
④雨水貯留施設

東 由美

①駅前広場②案内サイン③
犬の糞尿放置禁止区域④ウ
オーカブル推進都市⑤わい
せつ行為等防止⑥予防接種

守家英明

①離島の鳥獣被害②防災・
減災③市長懇談会

横川重行

①農業②財源③投票事務

神田泰孝

①ワクチン検査パッケージ
②ピンクリボン③UDフォ
ント④放置自転車⑤勝手橋

水本徹雄

①ドローンの利活用②新市
民会館

岡田 剛

①人権行政②離島振興③教
育④商店街⑤第一次産業

中谷真裕美

①マルタス②地域公共交通
計画③上下水道料金

一
般
質
問

各種支援 重層的な体制を



香川 勝 議員

縦割りと言われる行政の現状を変え、誰も排除しない、孤
立させない地域共生社会の実現が求められている。断らない
相談支援や参加支援、地域づくりへの支援を同時に行う重層
的支援体制整備事業が不可欠であるが、多様な事
業の財政支援を一体的に実施する体制整備と、
今後の推進に対する見解は。



一人ひとりの生活を支えるには・・・

A

健康福祉部長 本市で

は、支援事業の必要性を
認識しており、令和4年度から
最長3か年度をかけて、重層的
支援体制整備事業への移行を目
指している。

施設や各機関の人員、特性等
により、その実施方法には差異

があり、分野別での支援のしづら

さを改善し、様々な支援を重ね、
つないでいくことが、縦割りの仕
組みの解消につながると考える。

先進事例等を参考に、まず、移
行準備から実施までを可能とす
る体制づくりに取り組んでいき
たい。

やさしく スマホ教室を

Q



大西 浩 議員



寄り添い わかりやすく

デジタル化が急速に進み、情報弱者が生まれている。今年度、緊急経済対策として実施したキャッシュレス決済ポイント還元事業でも、スマートフォンを持っておらず、また持っていないても利用方法がわからないといった多くの意見があった。誰一人取り残さない市の実現のためにも、スマホ教室を開いてはどうか。



A

市長公室長 デジタル化

が進み、利便性の向上が図られる一方で、ICTを十分に活用できない層との社会的、経済的な格差が生じている。

本市でも、高齢者や市民を対象にスマホ教室を開催したい。コミュニティ等の要望を聞き、

電気通信事業者の協力を得て、

文字入力などの基本操作や通信アプリ、電子決済アプリの使い方など、高齢者も参加しやすい教室としたい。現在使用しているスマートフォンを有効活用できるように検討していきたい。

市長が目指す まちづくりとは

Q



武田孝三議員



市の展望は

現在、本市では、第二次総合計画後期基本計画を策定中である。政策を推進していく上で要となるのが総合計画であるが、市長が目指しているまちづくりとは何か。今回、10の方針を示すそうだが、どのような方針なのか。



A

市長 本市総合計画後期

基本計画の策定作業を進めており、市長の任期とも連動する計画の期間中に実現を目指す公約や所信表明で発した施策を織り込む予定である。

計画の施策体系の中で、私が目指すまちづくりの10の方針と

して、特に力を入れて推進したい方針を定める。

地域と学校との連携強化で、まち全体が学校となる環境づくりの推進など、私が重要と考えるまちづくりのあり方や、これまでの多くの意見を踏まえた課題に対応するものである。

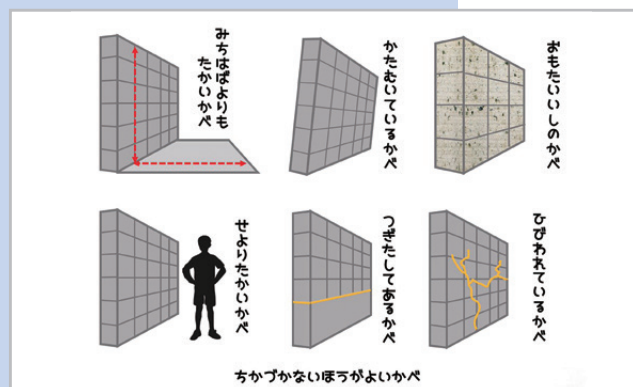
危険ブロック塀 撤去支援を

Q



廣田勝也議員

平成30年の大阪府北部地震を契機に、全国的に危険ブロック塀の補修や撤去などが実施されているが、市内には今も危険ブロック塀が多く見られる。倒壊したブロック塀の下敷きになり、幼い児童が亡くなる痛ましい事故を二度と発生させないように、継続した取り組みが求められる。撤去費用の支援に対する見解は。



A

市長 本市では、令和元年度からの2年間で153件補助している。今年度、制度は終了したが、南海トラフ巨大地震が30年以内に70～80%の確率で発生すると予想される中、市内には今も、倒壊のおそれのある民間ブロック塀がある。

り、対策を講じる必要があると認識している。

来年度、通学路を対象に、危険な民間ブロック塀撤去に関する新たな支援制度の実施に向け、前向きに取り組みたい。現在、財政負担など様々な検討を行っているところである。

DV対策 若年層への取り組みは

Q



角野仁美議員

DVとは、親密な関係にある人を暴力で思い通りにする行為であり、交際中のカップルではデートDVという。市民が被害者や加害者にならないように、未然に防止する必要がある。市としての取り組み状況と、今後の対策は。また、被害者への相談窓口は。



A

総務部長 近年、SNSの普及などでDVの内容も多様化し、低年齢化している。本市では、配偶者等からの暴力の根絶を重点課題として取り組んでおり、市内の高校や大学、専門学校内でデートDVに関するパネル展など、若年層に

重点を置いた啓発を行い、将来のDV予防に力を入れている。

相談窓口としては、本市家庭児童相談室や香川県子ども女性相談センター、警察、かがわ男女共同参画相談プラザ、全国規模の相談窓口となるDV相談プラザなどがある。

おもてなし その心遣いは



三宅真弓議員

人と人とのつながりの温かさは、生きていることの喜びにつながる。今、四国遍路の歴史やお接待の文化に関心が向けられており、この思いやりや心遣いに触れることが、旅の目的としての重要な要素となっている。市内外から多くの人が訪れる新庁舎でも、当然おもてなしの心遣いがあるべきだが、現状はどうなのか。



奏でられる♪*♪*も心地よいものです

A

産業文化部長 本市観光

戦略プランでは、観光客と地元との「参加と共感」による観光振興を主要なテーマに掲げ、具体的目標を設定し、取り組みを進めている。その中で、地元ならではの経験やノウハウを生かした新たな体験型観光メ

ニューの開発に努めている。

新庁舎の1階フロアについても、関係課と協議、調整を進め、全庁的な連携を図る中で多彩な情報発信に努めるなど、来庁者をおもてなしできる雰囲気づくりを醸成していきたい。

中心市街地 活性化に向けて



川田匡文議員

新市民会館の建設予定地である大手町4街区には、駐車場用地としての広い土地がない。福島駐車場やみなと公園など、駅の北側に新市民会館の基幹駐車場を整備すれば、商店街に恒常的な人流が生まれるのではないかと。市全体の長期的な展望に立ち、中心市街地の活性化に向けたビジョンは。



駅北エリアの整備は

A

市長 大手町4街区から

少し離れた場所にある駐車場の活用を促し、まちを歩くことは、駐車場不足への対応だけでなく、まちなかの活性化策としても大変有益である。

多様な切り口から、活性化の糸口を探ってきた。駐車場の問題

としては、市民会館オープン後の運営面での努力が不可欠だが、新市民会館の整備を含めた4街区再編の効果が十分に発揮されるよう、市全体で中心市街地の活性化に取り組んでいきたい。

認知症支援 住み慣れた地域で

Q



渡邊一馬議員



地域の力で安心を

認知症の人やその家族が、地域や専門家と情報を共有し、理解し合える場が重要である。認知症カフェなど集える場所は充足しているのか。また、認知症の早期発見や早期対応を目指して活動する認知症初期集中支援チームの体制や地域対応の現状はどうか。



A

健康福祉部長 市では、

サポート医師を講師とした家族介護支援講座のほか、市内15か所で認知症カフェを開催している。

認知症初期集中支援チームは、現状、サポート医師7名、地域支援推進委員5名で活動している。昨年度の対応件数は44

件で、家族からの相談等を受けた専門職が訪問し、状況を確認

している。支援の方向性を検討し、必要な医療・介護の導入、調整等包括的、集中的に支援を行っている。

住み慣れた地域で、支援を受けながら暮らすことができる体制を整えている。

地域公共交通と 移動支援

Q



内田俊英議員



願いが届くように

SDGsの理念から、地域公共交通や移動支援の現状は十分なのか。今年度、7地域コミュニティが高齢者のお出かけ支援を行っているが、外出に不便さを感じている地域が利便性の向上に取り組んでいる印象がある。市民の願いに沿う必要性や運営形態が望まれるが、どうか。



A

都市整備部長 昨年度、

コミュニティバスは、陸地部5路線で約19万3千人、本島約2400人、広島約4700人が利用され、市の財政的負担は約1億210万円であった。

お出かけ便は、週2〜3日、1日平均3〜7件の利用があり、車両の購入経費180万

円と維持管理経費35万円を上限に補助している。SDGsのね

らいには届いていないが、現時点での最善を尽くしたものと認識している。

今後は、様々な交通手段の連携により、利便性が高く、持続可能な地域公共交通網の構築を目指したい。

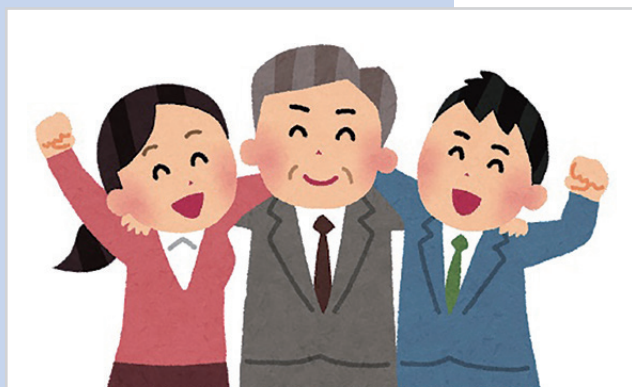
定住自立圏域 その拡充は

Q



大前誠治議員

香川県は、広域水道企業団や污水处理事業効率化協議会を設立し、県内の各事業に共通する課題解決を図っている。本市も、体制の整備や強化を目指し、さらなる広域化を検討しなければならない。今後のまちづくりにおいて、坂出市や宇多津町を含めた定住自立圏域を拡充する考えは。



力を合わせて地域を元気に

A

市長 これまでも、坂出市や宇多津町とは、瀬戸内国際芸術祭中の移動支援や、綾川町も含めた中讃医療圏での2次救急の業務など、2市3町の枠組みにとらわれることなく、課題に応じた枠組みで取り組みを進めてきた。複雑・多様

化する行政課題が山積する中、広域連携による課題解決は避けられないものと考えている。今後、中讃2市3町での施策の充実を基本とし、一方で既存の広域行政の枠組みにとらわれない、さらなる連携に取り組んでいきたい。

定期予防接種 再接種に助成を

Q



東 由美 議員

抗がん剤の投与や骨髄移植などで、発症前に接種した定期予防接種の効果が低下し、消失する場合があり、その際の再接種費用は、原則全額自己負担である。県内でも複数の市町が助成しているが、本市でも再接種費用を助成できないか。



ワクチンで健やかに

A

健康福祉部長 ワクチンの接種年齢や接種回数は、予防接種法で定められている。免疫がつかない場合や、医療行為で免疫を失った場合の再接種への対応は定めがないが、小児がんでの抗がん剤の投与や骨髄移植の治療など、個人

の発病や重症化の予防、再接種に係る経済的な負担軽減の観点から、再接種の費用助成の検討が必要である。今後、助成対象や内容、近隣市町の状況等を調査研究し、小児科医の意見も聞き、検討したい。

島しょ部の イノシシ対策は

Q



守家英明議員



崩れたのり面 イノシシの仕業?!

広島町では、すべての地区でイノシシによる被害が発生している。広島以外の島しょ部でも同じ状況であると聞く。幸い人的被害は報告されていないが、島民の日常生活の安心・安全を確保しないといけない。イノシシ被害への対策は。



A

産業文化部長 本市では、イノシシの目撃情報

等をもとに、わなによる捕獲を行っている。島しょ部では、海を渡つての作業となるため、わなのかけ直しや移設に早急な対応が難しい状況である。

今後、捕獲従事者を増員し、

わなの設置数を増やすとともに、コミュニティ紙を通じてイノシシに遭遇した際の対処方法などを提供していく。また、侵入防止柵の設置補助制度の積極的な活用を呼びかけ、広い範囲の柵囲みなど、集落への侵入防止対策を強化していきたい。

選挙事務の誤り 続いたのはなぜか

Q



横川重行議員



私たちの一票が...

10月の衆議院議員総選挙において、本市では3件のミスがあった。投開票事務の確認や打ち合わせなど、準備は十分だったのか。また、その後の指導はどうか。経緯や再発防止への対応を市民に説明し、謝罪すべきではないか。



A

選挙管理委員会委員長 衆議院議員総選挙では、

3件もの事務誤りの結果、投票者のご意思を生かせず、また民主主義の根幹である選挙への信頼を著しく失墜させた。深くおわび申し上げる。

基本的事項や機器の操作等、

説明会や予行演習を事前に行っているが、従事者の確認や理解が不十分で、漫然と作業を行ったことが最大の原因である。反省し、今後はさらに詳細でわかりやすいマニュアルを作成したい。緊張感を持って選挙事務を遂行できるように指導していく。

放置自転車 駐輪場の対応は

Q



神田泰孝議員



気持ちよく利用できる駐輪場に

自転車放置禁止区域では、条例に基づき、一定期間を超えて放置された自転車や原動機付き自転車等は保管場所へ移送しているが、丸亀駅東西・地下駐輪場への見回りや撤去などどのような状況なのか。利用者が不便を感じないように対応すべきだが、いかがか。



A

都市整備部長 駐輪場では、駅周辺と同様、指定

管理者が日常業務として見回りをを行い、警告札の貼付け、所有者照会、引取り依頼文書の発送等を行っている。

これまで撤去回数の増加や一時移送など対応策を検討してき

たが、当該手続きには時間を要し、文書発送後は引取りまで一定の猶予期間が必要である。

なお、長期間放置されているものは、場所の移動を含め、駐輪場を利用できるように対策を検討したい。

新市民会館の整備 市民説明会を

Q



水本徹雄議員



市民会館建設予定地

11月10日に開催された新市民会館整備意見交換会では、市民の声が十分に届けられなかったのではないかと。当日、会場の大きさの関係で入場できず、時間の関係で質問できないなど、次回開催を切望される声もある。再度、市民への説明や意見交換会の機会を設けるべきではないか。



A

産業文化部長 当日、意見交換会の会場で発言で

きなかった参加者などから、翌日以降、窓口や電話・メール等で意見が寄せられている。大規模な会では、時間的制約など様々な要因から発言できなかった人もおり、開催規模や進め方

に工夫が必要であると認識している。

引き続き、事業の進捗に合わせ、市民と一緒に考える車座集會等の場を設けるなど、誰もが新市民会館を適切に利用できるように意見を聞いていきたい。

人権意識と パートナーシップ

一般質問

Q



岡田 剛 議員

令和元年度の人権問題等意識調査では、差別や人権侵害を黙って我慢するという回答が半数近く占めている。本市として、この結果をどのように受けとめ、向き合おうとしているのか。また、パートナーシップ制度の制定に向けた進捗状況は。



A

総務部長 人権侵害を感じた時、相談先として行政機関を選んだ市民の割合が大

変低いため、今回の調査結果を踏まえ、今後、さらに相談窓口の周知や安心して利用できる体制整備に努めたい。

パートナーシップ制度は、多

様性を認め合い、人権を大切にするまちの実現に意義のあるものである。

当事者に寄り添った内容とするため、導入に向けた研究や検討を進め、来年度中に具体案を示せるように取り組みたい。



多様な個性を認め合うまちに

Q



中谷真裕美議員

多くの人が綾歌・飯山地区から坂出市内へ通学、通勤し、JR坂出駅を利用している。路線バス島田岡田線と本市コミュニティバスの乗り換え・連携など、坂出市への利便性を求める声が多いが、坂出市や関係団体との協議は。



A

都市整備部長 綾歌・飯山地区から坂出市へのア

クセスに関して、一定のニーズは認識しているが、市内の利便性の低下、路線延伸による事業者負担や、便数への影響も考えられる。ニーズ面だけでなく、地域公共交通の持続可能性や使

いやすさなど、総合的な観点から考える必要がある。

今後、ニーズの高い各方面へのアクセスを考慮し、利用促進を図れるように、周辺市町と地域公共交通の課題解決に向けて取り組む広域連携体制の構築に向け、進めていきたい。



多くの利用につながるように

意見書3件可決・提出

意見書案第3号

選択的夫婦別姓制度に関する
議論を求める意見書

選択的夫婦別姓制度に係る多様な意見がある中、今日の社会の変化等を踏まえ、同制度に関する積極的かつ十分な議論を、国に対し強く求める。

意見書案第4号

離島振興法の改正等を求める
意見書

令和4年度末で離島振興法が失効を迎える中、離島の現状を踏まえ、同法を改正の上、延長し、引き続き令和5年度以降も離島振興政策を推進するよう、国に対し強く求める。

意見書案第5号

治水対策の強化等を求める
意見書

今日の内水浸水対策の重要性にかんがみ、治水対策の強化と併せて、水路等の総合的な対策を早急に講じるよう、国並びに県に対し強く求める。

- 日にち 10月28日(木)
- 講師 仁賀順子 先生
ハラスメントコンサルタント
- 内容 ハラスメント～理解・防止・対応～



人の尊厳に関わる人権問題であるハラスメント行為。
セクハラ・マタハラ・ジェンハラなど、多様なハラスメント行為への理解を深めました。

議員研修

- 日にち 12月14日(火)
- 講師 西成典久 教授
香川大学経済学部
地域社会システム学科
- 内容 公共空間から考える
丸亀のまちづくり



歴史や自然環境など、魅力にあふれた丸亀市。
地域の資源を最大限に生かし、まちなか再生、
そして住みやすく、歩いて楽しいまちづくりをみんなで…。

委員会審査

市長から提案された議案について、委員会ごとに審査しました。



委員会審査

教育民生委員会

■審査した議案
議案第72号の関係部分、
73号、75～78号

主な質疑

Q委員 綾歌中学校屋内運動場の改修時期と、大規模改修工事等の早期実施時の補助金への影響は。

A教育部 令和6年度から改修する予定である。早めた場合、計画変更が必要だが、補助金への影響はない。

Q委員 ひとり親世帯臨時特別給付金の返還金に関して、給付対象者への周知は十分だったのか。

A健康福祉部 広報紙やホームページ等で広く周知するとともに、児童扶養手当現況届の提出時に案内するなど、十分な事業実施に努めた。

Q委員 特定不妊治療補助金の申請者数は。また、1回10万円までの補助で十分なのか。

A健康福祉部 申請件数は昨年度42件、今年度は所得制限の撤廃等があり、10月の時点で81件と増加している。治療方法によって負担が上回る場合もあるが、令和4年4月からの保険適用が検討されている。

審査結果

原案可決

都市環境委員会

■審査した議案

議案第72号の関係部分、
79～97号

主な質疑

Q委員 農業収入安定化支援対策事業補助金の目的は。

A産業文化部 全国農業共済組合連合会が取り扱う収入保険制度への加入者を対象に、コロナ禍で厳しい経営の農業者を支援するものである。



Q委員 橋梁補修の優先順位は。

A都市整備部 橋梁長寿命化修繕計画の策定時、全橋梁を点検

しており、計画に基づき順次、必要な修繕を行っている。

審査結果

原案可決

総務委員会

■審査した議案
議案第72号の関係部分、
74号、98号、請願第2号

主な質疑

Q委員 SDGs 寄付金瀬戸内オーシャンズX活動支援金の内容は。

Aポートレース事業局 海洋ごみ問題解決のために日本財団と岡山、広島、香川、愛媛の瀬戸内4県が連携した新プロジェクトの活動を支援し、市として海洋ごみ等の課題に取り組むものである。

審査結果

原案可決
請願採択

香川県知事・県議会議長へ 要望書 12/20(月)提出

本市が直面する課題を
要望書に取りまとめたものです。
松永市長・真鍋議長から、
速やかなインフラ整備を求めました。

- 国道438号バイパス
計画区間の早期完成及び事業
延伸
- 県道高松善通寺線
4車線化事業の早期着手
- 大束川
計画の早期完成及び河川整備
計画区間の延伸
- 西汐入川
内水被害低減の浸水対策
- 垂水橋
老朽橋梁の早期架け替え

請願審査結果

請願第2号

選択的夫婦別姓制度の法制化に
向けた議論を求める意見書に関
する請願

佐藤 倫子
仙頭真希子

請願の趣旨

夫婦同氏強制が、改姓を望ま
ない者にとって大きな不利益と
なっていること、日本国憲法や
国連女性差別撤廃条約の観点か
らも改正が求められること、ま

た、国民の多くが選択的夫婦別
姓導入に賛成あるいは容認であ
ることなどに照らし、一日も早
く選択的夫婦別姓が導入される
よう、法制化に向けた議論を求
める意見書を国に対し提出する
ことを請願する。

● 議会の意見・審査結果
採択

全議案可決

議案は、全て全会一致で原案
を可決しました。

議会のヒトコマ

12/1 君ヶ濱親方

4月に現役を引退した君ヶ濱親方（元関脇琴勇輝）が
来庁。議長からねぎらいと期待の言葉が贈られました。



1/1

初日の出

2022年の幕開け。日本古来の暦では、
新年は元旦0時からではなく、日の出から
だったそうです。 —東議員撮影—
(飯野山とお城の間に輝く光)

1/9 出初式／成人式

東中学校運動場で出初式。綾歌総
合文化会館アイレックスで成人式。
激励と祝福の言葉がそれぞれにあり、
とても身が引き締まる思いでした。



出初式



成人式

議会トピックス

教育民生委員会・都市環境委員会では、文化・観光関連の3施設を視察しました。今後の施設のあり方を検討するため、今の状況や課題を把握し、互いに共有しました。

11/10(水)
視察



中津万象園

- 1688年、京極高豊公が築庭した大名庭園。市指定の名勝文化財。
- 昭和56年の一般公開から40年を迎える。
- 長引くコロナ禍の影響などもあり、来園者は減少傾向。

うちの港ミュージアム

- 平成7年、丸亀うちの普及・PRや交流の場として開設。
- 平成9年、丸亀うちは国の伝統的工芸品に指定される。
- 雨漏りなど、館は老朽化が進む。



丸亀城内観光案内所

- 昭和42年、丸亀城を訪れる人たちをもてなすために設置。
- 民間食堂やうち工房「竹」、市観光協会などが管理運営してきた。
- 老朽化が進み、大規模改修も…。

編集

後記

先輩方と一緒に、広報広聴委員会で議会だよりを作成しています。

毎号、一人でも多くの皆さんが議会に興味を持ち、手に取って読んでいただけるように、意見を交わしながら紙面づくりに携わっています。

昨春秋、市役所内の議場で、大手前丸亀高校2年生の代表19人と意見交換会を行いました。初めは緊張感もありましたが、笑いあり、提案ありで大変盛り上がり、素晴らしい会となりました。

今後とも、幅広い年代の方々からご意見や声をお聴きし、市政に生かしていきたいと思っています。

広報広聴委員

角野仁美